

位置図



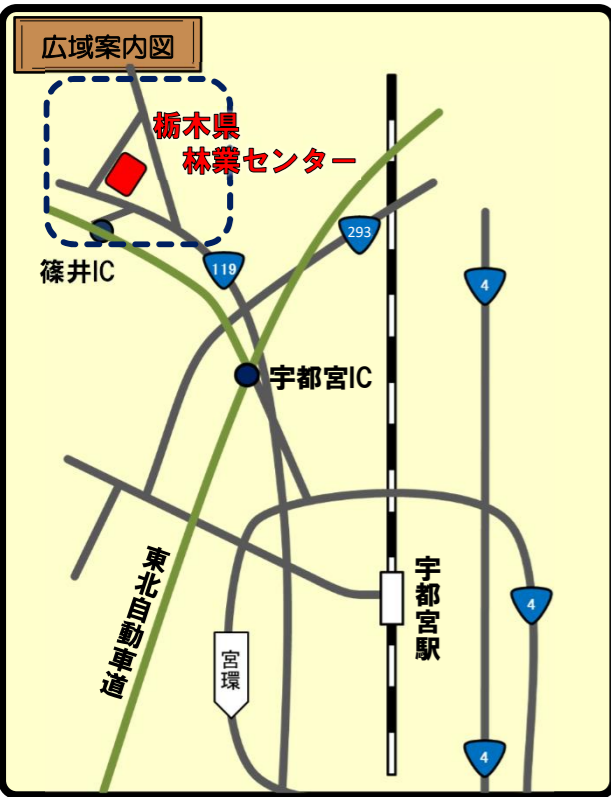
栃木県 林業センター

〒321-2105
 栃木県 宇都宮市 下小池町 280
 TEL 028-669-2211
 FAX 028-669-2212
 E-mail : ringyou-c@pref.tochigi.lg.jp

21世紀林業創造の森

〒322-0307
 栃木県 鹿沼市 入粟野 1512
 TEL 0289-86-1121
 FAX 0289-86-7722

案内図



交通機関を利用

- 【宇都宮駅から】
 宇都宮駅西口の関東バス8番乗場から
- ◆ 「石那田」行きで「石那田」下車
徒歩5分
 - ◆ 「今市・日光東照宮」行きで「石那田」下車
徒歩7分
 - ◆ 「船生」行きで「林業センター前」下車
徒歩1分



車を利用

【東北自動車道から】
 宇都宮インターから日光宇都宮道路を経
 経て、篠井インターより国道119号線に
 出て日光方面に約 2 km進み右折
 (案内看板あり)
 ※篠井ICは、宇都宮方面のみ出入り可
 能で、日光方面からは下りられません。



令和5年度

栃木県林業センターの概要



21世紀林業創造の森



木材研究施設



とちぎの元気な森づくり

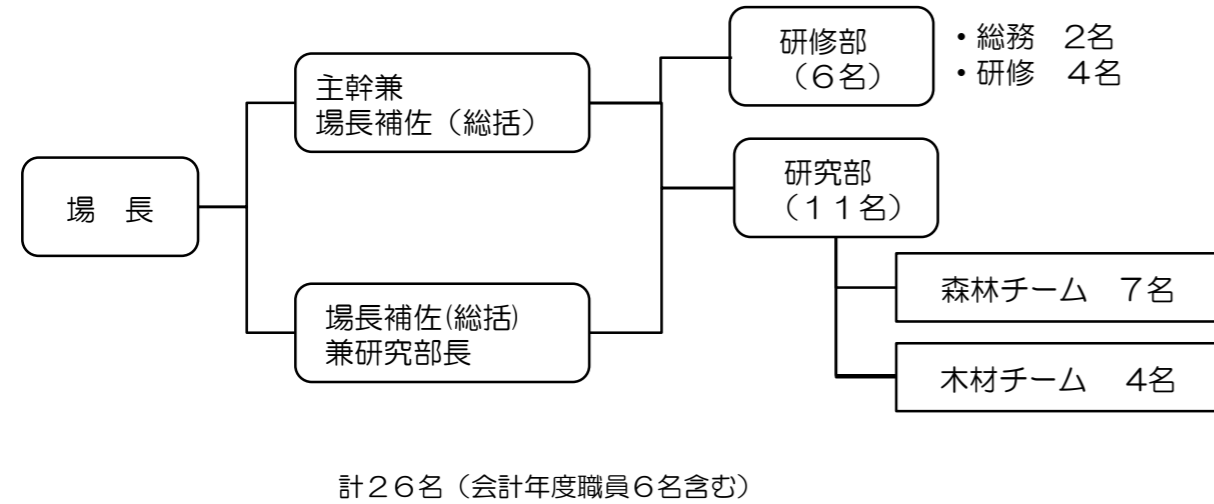
— 見直そう「森と木の文化」引き継ごう「とちぎの元気な森」 —

～ 林業センター場内トチノキ ～

1 組織の概要

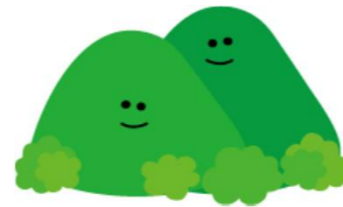
栃木県林業センターは、昭和38年に設立された森林・林業・木材産業に関する試験研究機関です。当所では、伐採期を迎え品質や性能で評価の高い「とちぎ材」の需要拡大を進めながら、「伐って、使って、植えて、育てる」という森林資源の循環利用を円滑に進めるとともに、シカやイノシシによる農林業被害の低減、安全・安心なシイタケをはじめとする特用林産物の提供など、行政の抱える課題の解決に試験研究を通して取り組んでいます。

2 組織図



3 重点項目

- 林業・木材産業の産業力強化ととちぎの元気な森づくり
 - 皆伐・再造林等による森林資源の循環利用の着実な推進
 - 少花粉スギ・ヒノキ等種子の生産拡大と品質向上
 - 新たなコンテナ苗育成手法の生産現場への技術移転
 - エリートツリー及び早生樹等の調査
 - とちぎ材の需要と利用の更なる拡大
 - 中大規模木造建築物に関するとちぎ材の品質・性能を活かした木質構造、新部材等の研究
 - オープンラボラトリーとして産学と連携した木材新商品の開発支援
 - 木造建築を担う技術者の確保に向けた、学生からプロまでを対象とした研修会等の開催及び技術支援や情報発信
 - 林業労働力の確保及び育成
 - 素材生産力強化を担う人材育成を目指した林業カレッジ研修の実施
 - 将来を担う人材を確保するためのインターンシップや小中高生等を対象とした森林・林業体験教室の開催
- 野生鳥獣の適正な管理と獣害対策の推進
 - 循環型林業に対応した獣害防除技術の研究
 - シカ・イノシシの生息半減及び農林業被害軽減に寄与する効果的な捕獲技術の研究
 - 鳥獣被害防止対策の推進に必要な生息状況等の調査
 - 捕獲に関する研究成果の現場への技術移転
- 安全・安心な特用林産物（きのこ等）の生産と原木林の再生
 - 県内産シイタケ原木の利用再開と再生技術の開発
 - 出荷制限作目の生産再開・汚染に強い作物の栽培技術の開発
 - 特用林産物の安全・安心を支える適正・円滑なモニタリング検査の実施
 - 生産者等を対象とした技術研修会等による研究成果の普及



林業担い手の育成のために

- 年間を通じて林業カレッジ研修や林業に関する各種技能講習を実施し、林業の担い手の育成に努めています。
 - 林業架線作業主任者免許取得講習
 - 小型移動式クレーン運転技能講習
 - 不整地運搬車運転技能講習
 - 車両系建設機械運転技能講習
 - はい作業主任者技能講習
 - 玉掛け技能講習
 - 高性能林業機械オペレーター養成研修等



21世紀林業創造の森（研修施設）
鹿沼市入粟野



林業架線作業主任者免許取得講習



車両系建設機械運転技能講習



高性能林業機械オペレーター養成研修

森林・林業についての理解を深めるために

- 森林・林業についての理解を深めていただくため、各種体験教室を実施しています。
 - チェーンソー丸太切り体験
 - 小中高生等を対象とした森林教室
 - 高性能林業機械試乗体験
 - みどりの実験



チェーンソー丸太切り体験（森林体験教室）



学習・交流の拠点となる交流館



小中高生等を対象とした森林教室



高性能林業機械操作体験
（森林体験教室）



みどりの実験（森林体験教室）

木材産業の振興のために



- スギ・ヒノキ等県産材の強度特性解明に取り組んでいます。
- 木材の人工・天然・ハイブリッド乾燥技術の高度化・低コスト化に取り組んでいます。
- 木質構造体、内・外装材等の新たな用途・利用に向けた研究・開発を行っています。
- オープンラボラトリーとして運営している木材研究施設を活用した、民間企業からの各種依頼試験の実施といった性能評価や技術指導による業界支援を行っています。



(張弦トラス実大曲げ試験)



(CLT接合部試験)

学術機関との共同研究
(宇都宮大学・東京大学等)
～新たな木質構造体の開発～



(鉛直構面の面内せん断試験)

教育機関との共同研究(宇都宮工業高校)
～鹿沼組子耐力壁の開発～



(ラーメン工法面内せん断試験)



自主研究(クリープ試験)
～スギ・ヒノキの長期性能の解明～



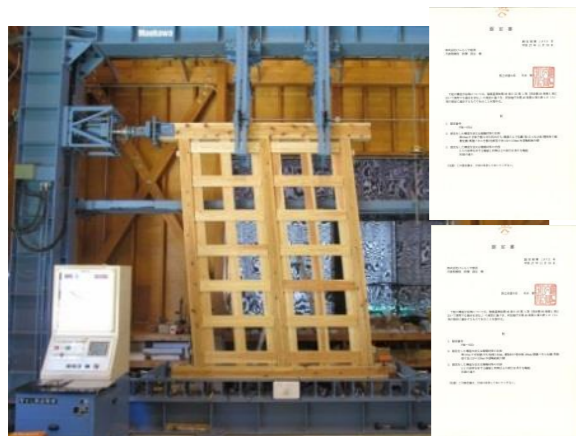
(強度性能測定)

(サスペンダーチ構造)



(現地研修会)

木造公共建築物建設支援及び現地研修会の開催



大臣認定取得支援(耐力壁面内せん断試験)



商用機での木材乾燥に係る技術支援



試験成果に基づく技術書

4 森林資源の循環利用と林業センターの試験研究

健全な森林の円滑な循環を確保するため、試験・研究に取り組んでいます。

- 木材の品質・性能特性の解明
- 人工乾燥技術の高度化・低コスト化
- 木材の新商品の開発
- 民間からの試験受託や技術指導

- 放射性物質のモニタリング調査
- 県産原木林等の利用拡大と再生を目指した研究
- 放射能汚染に強い作物の栽培技術の開発

健全な森林・林業のサイクル (Cycle of healthy forests and forestry)



- 林業カレッジ研修等での担い手育成
- 県民の森林・林業に対する理解促進

- (原図出典：H27版森林・林業白書、全普協刊)
- 少花粉苗等による花粉症対策と獣害対策
- 新たなコンテナ苗育成手法の技術移転
- 植栽密度・保育手法によるコスト削減

- 野生害獣の効果的な捕獲方法
- 野生鳥獣のモニタリング調査

林業・木材産業の基盤となる「循環の森」づくりのために

- 森林資源の循環利用を推進するため、皆伐・再造林に加えて、主伐の別手法である択伐についての新たな更新手法の検証を行っています。
- 低コスト林業に向け、経費削減・労働負荷軽減となる大苗及び早生樹の研究を行っています。
- 花粉症対策として花粉の少ないスギ・ヒノキ品種採種園の造成・管理や種子生産を行っています。
- コンテナ苗の育成経費の低コスト化と品質向上のための研究を行っています。



伐採前 伐採後

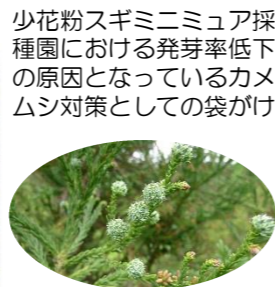
伐採前後の開空度の状況



少花粉スギミニニミュア採種園（日光市塩野室育種地）



新たなコンテナ苗用培地の開発を検討し、生産コストの削減や育苗期間の短縮等を目指す



少花粉スギミニニミュア採種園における発芽率低下の原因となっているカメムシ対策としての袋かけ



少花粉スギ実生



野生鳥獣の管理と被害軽減のために

- シカやイノシシの効率的な捕獲手法についての研究を行いその成果を現場へ技術移転しています。
- シカやクマによる森林への影響を把握し、被害防除のための研究を行っています。
- シカ、サル、クマ、イノシシ、アライグマなど、農林業や生態系への被害を及ぼす鳥獣の生息状況等について、モニタリングを行っています。



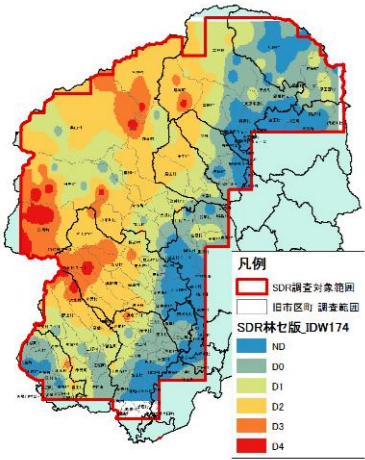
センサーカメラを用いたクマの生息状況のモニタリング
胸の斑紋（月の輪）で個体識別



植栽苗木に対するシカ食害防除資材の効果や耐久性の試験



県東部のシカ低密度地域で、わなの見回りを軽減するリアルタイム画像の送信システム

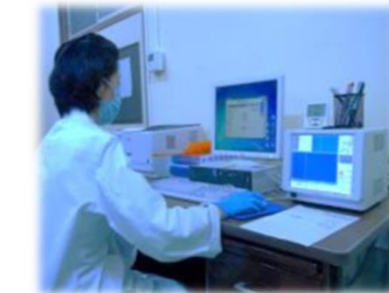


シカによる森林植生への影響を下層植生の衰退度で評価し、県域スケールで可視化

特用林産物の振興のために



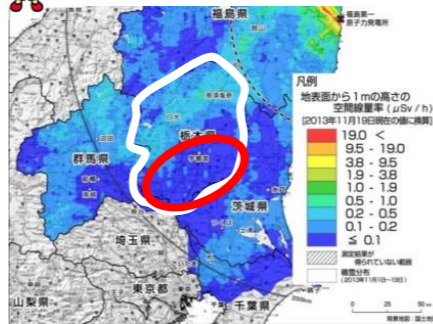
安全・安心な特用林産物のため、放射性物質のモニタリング検査を行っています。



ゲルマニウム半導体検出器による検査



きのこ用オガコ・原木生産林等県内広葉樹林の活用と再生を目指した研究を行っています。



原木の利用再開が期待される地域



原木非破壊検査装置による原木測定



可搬型検査装置による立木の測定



放射性物質の影響の少ない、安全な特用林産物の栽培方法の研究を行っています。



放射能汚染に強いきのこの栽培



ほど木から子実体への実証試験地

放射能汚染に強いハタケシメジを試験栽培しています。

ほど木の放射性物質が、子実体に及ぼす影響（移行係数）を調査するため、実証試験を実施しています。



竹林除染によるタケノコ栽培試験地

シイタケ以外の出荷制限の解除が進んでいない品目のデータ収集と、放射性物質による汚染を低減する栽培技術の研究を行っています。



原木栽培クリタケ試験地



研究・調査の成果を、生産者や県民の皆さんに、マニュアルやパネルで分かりやすくお知らせしています。



きのこ栽培における放射能対策 作業マニュアル【暫定版/第8改訂版】

